



2021 年度
第 20 号

体育市民連帯 ニュースレター

大韓民国スポーツの

根本的変化を

皆さんと共に

作って行きたいです

体育市民連帯と共に

していただけますか？

1
黒いメダルは
免罪符になることが
できない



2
スポーツ界
人権侵害、不正など
有罪確定者名簿公開



3
時代の変化で...
結束力弱化の懸念も



4
大韓射撃連盟、
「言葉の暴力・
合宿規定違反」
代表 3 人に厳正懲戒



대한사격연맹

5
スポーツと法の出会い
スポーツ界懲戒

6
プロサッカー選手協
選手同意のない
移籍条項は
受容できない



체육市民連帶 CNet フォーラム

日時：6/25（金）、午後4時～5時30分

方式：リアルタイムオンライン（ZOOM, ユーチューブ）

Zoom リンク <https://cau.zoom.us/j/82277332191>YouTube リンク https://youtu.be/rAz9ut0_rUM

主題：スポーツクラブ法制定の意味と今後の課題

◇司会 ホン・ドクギ | 慶尚国立大学教授

◇議論 ジュ・ソンテク | 韓国スポーツ未来戦略研究所所長

ジュ・ジェホン | ESPOUSE EARTH 代表（弁護士）

ホ・ヒョンミ | 敬仁女子大学教授

◇問題提起 趙ヨンウン | 弁護士

01 ソウル特別市体育会のブログ スポーツ暴力、今はアウト 2021.5.31
黒いメダルは免罪符になることができない

スポーツに参加するすべての人が暴力にさらされる心配をせず存分にスポーツができる世の中。

ごく当然の権利だが、スポーツ分野はこれまで暴力の継承から自由ではなかった。

暴力は大事に維持してスポーツ有望選手に受け継ぐべき誇らしい遺産ではない。

文：ホン・ドクギ（체육市民連帶執行委員長）



暴力の日常性

今年初め、韓国を代表するスポーツスターの過去の学生選手時代の学校暴力問題が出てきた。学校暴力がスポーツ分野にのみ存在するわけではない。しかし、国家人権委員会の2019年スポーツ暴力実態調査の結果は、一般学生が経験する暴力に比べて頻度・強度・持続性の面ではるかに深刻であることを示した。

また、一般的な学校暴力事件の場合に比べてスポーツ分野では大人になっても暴力的構造がそのまま続く特徴を示す。これに加えて、被害者が積極的に被害事実を報告できないスポーツ現場の閉鎖的特性を考慮すると、被害規模はさらに深刻なものと予想する。暴力は身体的暴力だけを意味しない。言語暴力を含めて強圧的な規制、監視、統制などの暴力的な文化も暴力に該当する。過去に比べて減ったとはいえ、スポーツ暴力はまだ非常に広範かつ日常であり、継続的に行われている。

スポーツ暴力の正当化メカニズム

スポーツ暴力は目的達成のための手段として機能し、正当化される。第一に、競技実績のための手段である。たとえば、多くの場合指導者は試合の実績に基づいて再契約するかどうか決定される。いくら立派な指導哲学を持っていても結果が良くなければ生存できない。科学的で体系的指導法を学べなかった指導者は、選手たちの能力を最大限にするための手軽な方法として暴力を使う。このような状況で選手は一人の完全な人格ではなく、指導者の生存のための道具として置き換えられる。

第二に、結束力強化のための手段である。精神力の強化と団結を理由に体罰や暴力が訓練に化けて暗黙的に容認される。選手たちは暴力を必要悪とみなし順応するか、かえって一部の学生選手や保護者は暴力を擁護して正当化する。

第三に、先輩と後輩間の位階秩序と閉鎖的な運動部文化のための手段である。日常生活全般にわたるスポーツの分野の閉鎖性は、暴力を内面化して、最終的には、被害者は、将来の加害者が暴力の相続が発生する。相続の輪は堅牢で個人が切断難しい構造的な問題だ。

暴力が正当化されない理由

どの分野でも暴力は存在するので暴力を0%にすることは不可能である。だからといって暴力を予防し、減らす努力を怠ってはならない。暴力はいかなる理由でも正当化できない。まず、人間の尊厳はその何にも優先する。権力の差とか運動機能の違いにより他人を軽視したり無視したりして尊厳を毀損する行為は、それ自体で非人間化を誘発する。体罰やしつけを通して選手の行動を修正できると信じることは、人間を刺激 - 反応の対象、すなわち人間ではなく機械として客体化するだけである。第二に、暴力は選手を不幸にする。

スポーツ暴力は被害者に身体的損傷だけでなく、怒り、不安、恐怖、憂鬱、疎外感のような感情的な傷を非常に長い期間残す。第三に、オリンピック順位などのメダル至上主義に代表されるスポーツ強国パラダイムは、国民皆の幸せな生活と直接関係がない。「棍棒で作られたメダル」に何の意味があるだろうか？

国の役割

国の役割はスポーツを国家主義の手段として使用するのではなく、全国民がスポーツを楽しめるように支援することにある。そのためには専門性と独立性を備えた機関で徹底的かつ迅速な調査を展開しなければならない。暴力事件の場合、加害者と被害者の主張が異なる場合がほとんどである。

調査機関の専門性に対する信頼がなければ被害者が報告するのは難しい。また、加害者と被害者の分離措置を直ちに実行する必要がある。スポーツを継続しなければならない被害者の立場から、加害者と徹底的に分離されなければ懐柔、脅迫、誹謗など2次被害にあうことがある。何よりも、加害者の一罰百戒（訳注：一人を厳しく罰して多くの人の戒めとすること）が必要である。あれこれの理由で軽い処罰をして、数年経たないうちにスポーツ現場に復帰することはあってはならない。暴力のないスポーツ界を構築することは国の基本的な責務であるため、国が積極的に介入しなければならない。

文を書いたホン・ドクギはスポーツ教育学専攻で、米国ノーザン・アイオワ大学教授を経て、現在は慶尚大学教授として在職中だ。スポーツ革新委員会、体育市民連帯、スポーツ人権研究所などで活動し、韓国スポーツの変化のために努力している。マラソンが好きでスポーツ・教育・人権について関心がある。

文 ホン・ドクギ

出典：<https://blog.naver.com/seoulsportal/222376754778>

スポーツ界人権侵害、不正など有罪確定者名簿公開



今後、スポーツ界で人権侵害を犯したりスポーツ不正で有罪判決が確定したりした人の実名が公開される。

文化体育観光部は昨年12月8日改正された「国民体育振興法」及び同法施行令、施行規則が6月9日から施行されると明らかにした。

施行される法令は体育人の人権保護の実効性を高める制度と民選地

方体育会長時代に符合する地域体育振興のための制度的方策を含んでいる。

2019年1月にスケート指導者の常習的な性暴行事件、2020年6月に故崔スクヒョン選手の体育指導者などの常習暴行事件をきっかけに、スポーツ暴力を根絶し、選手の人権保護を強化するための国民体育振興法の改正が計3回行われた。

今回施行される3次改正「国民体育振興法」はスポーツ界の人権侵害やスポーツ不正で有罪判決が確定した者の名簿公開制度の新設、名簿公開と体育指導者資格取り消し（停止）などを審議・議決するための「体育指導者資格運営委員会」の設置、スポーツ団体や学校での体育指導業務に従事する体育指導者の倫理など人権意識の向上、教育履修義務、職場の運動競技部（実業チーム）選手の合宿選択の自由の保証、職場運動競技部運営規定作りと順守義務、スポーツ不正統合申告管理システムの構築と懲戒情報システム登録対象の拡大などを内容としている。

スポーツ界の人権侵害などで有罪判決が確定した者の

名簿公開制度の新設及び体育指導者資格運営委員会の設置・運営

スポーツ界の人権侵害やスポーツ不正で有罪判決が確定した体育指導者と体育団体の責任者に対して「体育指導者資格運営委員会」の議決を経て名簿を公開する制度が新設された。名簿公開が決定されると文部部長官が公開対象者の氏名、年齢、住所などの個人情報と不正行為、有罪判決確定の内容を官報又は文体部ホームページに掲載し、これはスポーツ倫理センターホームページにも公開できる。

名簿公開制度は体育指導者やスポーツ団体責任者の人権侵害に対する警戒心を高めてスポーツ界の人権と倫理意識向上に寄与するものと思われる。

学校とスポーツ団体の体育指導者、2年ごとに倫理と人権教育履修

スポーツ界の人権尊重意識向上のための教育も強化される。去る2月に施行された2次改正法では選手と国家代表、指導者（体育指導者を含む）、審判、スポーツ団体の役職員等に性暴力などの暴力予防教育を毎年義務的に受けることとした。教育を受けない体育指導者は最大1年の資格停止処分を、体育指導者の教育を理由に不利な処遇をする学校と体育団体には過料100万ウォンの賦課処分をすることができる。

職場運動競技部選手の合宿訓練選択権保障など選手の人権保護強化

職場運動競技部選手の合宿所でのプライバシーの自由と入所するかどうかの個人的な選択の自由を保障して合宿所の管理基準を定め合宿選手の私生活を保護し人権を保証する。また、職場の運動競技部が所属する機関や団体の長に選手団構成員の資格に関する事項、合宿所運営管理に関する事項、選手の人権保護措置に関する事項などを含む運営規定を設けて運営規定の遵守状況等を毎年、市長・郡首・区長に報告するようにした。

人権侵害など統合申告管理システムの構築、懲戒情報システムの登録対象拡大

スポーツ倫理センター、地方自治体、スポーツ団体などに関係なく申告を受けたスポーツ界の人権侵害やスポーツ不正は統合して管理できるように統合申告管理システムを構築し運営する。特に体育指導者との雇用契約時に懲戒情報システムを介して懲戒履歴を確認するようにした。3次改正法施行と関連した、より詳しい内容は文体部ホームページを通じて確認することができる。

文体部ファン・ヒ長官は「過去2年間、スポーツ暴力と不正から体育人を保護するために国民体育振興法を継続的に改訂して制度を改善してきた」とし「今回施行される有罪確定者名簿公開、スポーツ指導者の資格管理、職場の運動競技部選手の人権保護などの政策を効果的に執行するために、現場と継続的にコミュニケーションして健康的なスポーツ体系を造成する。さらに、国民がスポーツで幸福な大韓民国になるように最善を尽くしたい」と述べた。

出典：https://www.ytn.co.kr/_ln/0103_202106091000080214

03 慶南道民日報 2021.06.10

“ 時代の変化で... 結束力弱化の懸念も ”



女子ハンドボールチーム慶南開発公社はリーグ8チームの中で唯一の合宿訓練をしていない。昨年10月、国家人権委員会の「職場運動競技部選手の人権保護・促進のための政策勧告」が発表され、球団が乗り出して合宿所をなくした。「上からの改革」であった。

すべての選手が合宿所から出て3ヶ月が過ぎた現在の反応はどうだろうか。肯定的だと要約することができる。金ヒ

ョンチャンコーチ、チーム内の年長者である金イスル、昨年入団した趙スヒョンは、異口同音に「時代の変化に合わせて合宿生活は消えなければならない」と述べた。

金イスルは「合宿所を廃止するときに独立した気がした。心配もしたが楽なのでよかった」とし、趙スヒョンは「新人なのでお姉さんたちと親しくなり、チームの雰囲気に合わせてやるべきなのに一人暮らしして心配したが、一方で初めて独り立ちして暮らすのに胸がわくわくした」と述べた。

懸念されている部分がある。各自それぞれ住むようになり、「私達」よりも「私」を重要視するようになるからである。種目の特性上、団結が重要なのに合宿をすることなく、仲間と結束力を強化する場が足りなくなったのも事実だ。

仕事の後の自己管理も重要になった。節制しなければ競技力が低下するのは火を見るより明らかなこと。

金ヒョンチャンコーチは「選手たちの門限、体調管理など気になる」と言いながらも「一度選手たちを信じて、選手たちも職場スポーツだから自分の自己管理をしている」と説明した。

慶南開発公社の合宿廃止に他のチームの選手たちは羨望している。ある選手は移籍したいと問い合わせもした。監督も合宿訓練廃止と関連して慶南開発公社に関心を持って見守っている。現時点で合宿所の廃止により競技力が低下するのか、向上するのか判断するのは難しい。影響を与えないこともある。リーグが開幕して試合を行えば分かると思われる。

金イスル・趙スヒョンは長期的に合宿生活が消えなければならないと見る。金イスルは「合宿生活を続けるから先輩と後輩の間の問題が生じるだろうし、どうしても嫌な声をまた聞くことになるから、聞く人も気分悪いし、言う人も気分悪いので、その気持ちが延長されているようだ」とし、趙スヒョンは「後輩なのでお姉さんたちの顔をうかがう部分があるが、家に帰れば自分だけの空間で楽に過ごすことができいいから変わるのが良いと思う」と述べた。

出典：<http://www.idomin.com/news/articleView.html?idxno=763830>

04 スポーツワールド 2021.06.08

大韓射撃連盟、「言葉の暴力・合宿規定違反」代表3人に厳正懲戒



대한사격연맹

大韓射撃連盟は8日、「連盟スポーツ公正委員会が2日、国家代表3人の厳正な懲戒処分を下した」と明らかにした。

今回の懲戒は、国家代表選手3人が特定の選手1人に長年の言語暴力などを行使した事と合宿の規定に違反した事から始まった。スキートの看板選手、金ミンジが12年の資格停止処分を受けた。現在、今の所属チーム昌原市庁

から退社処理された状態だ。

連盟は「現在再審申請期間であること、被害者と加害者の人権保護などを考慮して詳細な事件の内容については明らかにできないことをご了承願います」と述べた。

連盟は「法律家、教育人などの外部委員9人で構成されたスポーツ公正委員会の懲戒決定は、スポーツ公正の価値と人権を毀損する行為について無寛容の原則と客観的、法律的審議、十分な当事者間疎明の機会提供など手続き的正当性のもとで行われた」と伝えた。

続いて「あってはならないことが発生して残念だ。今回の事案が選手と指導者全体のスポーツ公正の価値を守り、射撃人みずから品格を高めるきっかけになるだろう」と付け加えた。

出典：<http://www.sportsworldi.com/newsView/20210608508484>

05 大韓弁護士協会新聞 2021.06.14 李ジャンホ弁護士（法律事務所ケイエニコ代表） [スポーツと法の出会]スポーツ界懲戒



スポーツ界では独自の懲戒規定がある。一般国民としての義務は当然スポーツ人としても従わなければならないが、さらにスポーツ界の特性を考慮して内部規定により義務が定められ、これに違反した場合、懲戒手続きに基づいて懲戒が行われるものである。主な規定では、大韓体育会のスポーツ公正委員会の規定と大韓障害者体育会法制賞罰委員会の規定がある。上記の規定によれば、懲戒対象者は体育会の関係団体役員、大会主催と参加役員、登録された選手、指導者、審判、スポーツ同

好人、会員、運動部などが該当する。懲戒事由には暴力、性暴力、入試不正、八百長、不公平な判定、組

織運営と関連した横領、背任、職権乱用、大会進行中の各種秩序紊乱行為などを含む体育人としての品位を著しく毀損した場合などである。

懲戒は構成員の権利義務に関する重要な制裁行為なので、刑事罰と同様に厳格な手続きと証拠を必要とする。だからスポーツ公正委員会または法制賞罰委員会を置き、その委員は法曹人、スポーツ分野経歴人、人権専門家などを中心に構成されている。厳格な証拠を必要とするが、委員会が調査し聴聞の手続きを経る程度で捜査権を行使することはできず、証拠調査における限界がある。それでも、その分野での様々な経験を持つ委員が検討して懲戒するかどうか熟思熟考して懲戒するかどうか及びレベルを議決する。それに承服できない場合、懲戒無効訴訟で裁判手続きに入ることもある。

ところが上記のように、スポーツ公正委員会の規定等により進行されるにもかかわらず、いくつか検討しなければならない部分もある。

まず委員会の構成員がほとんど会長が委嘱することになり、会長に友好的な人と非友好または敵対的な関係にある人には懲戒手続きにおいて不公平に適用される余地もある。種目団体から継続的な紛争として刑事告訴事件に至っても事務局や委員会が懲戒手続きを進めないの上位組織に監査を要求し、その種目団体の地位を下げる場合もあった。そして執行部に敵対的な場合、懲戒量において資格停止程度で十分なはずが永久除名する場合もある。したがって委員会の構成と運営における独立性と公正性を担保する仕組みが必要である。また、懲戒の効力もけん責や解任はどんな効力なのか、資格停止は何年まで停止できるのか、除名と永久除名の違いは何なのかなどを明確にする必要がある。

最後に、懲戒の強化だけが能ではないのではと考えて見る必要がある。懲戒のレベルを上げると一般的な予防効果はあるだろうが逆にスポーツ現場では、懲戒事由に関する隠蔽ないし目をつぶることがさらに増える可能性があるからである。

スポーツ界で私たち法曹人の役割が期待される。

出典：<http://news.koreanbar.or.kr/news/articleView.html?idxno=23257>

06 UPI ニュース 2021.06.11

プロサッカー選手協「選手同意のない移籍条項は受容できない」



選手の要求を反映したプロスポーツ標準契約書がまだ選手たちの権益保護に不十分でその場しのぎだと韓国プロサッカー選手協会の選手が反発している。

去る3日、文体部はプロスポーツ選手の権益保護と公正な契約のために標準契約書の導入を決めた。サッカーをはじめとする

4大プロスポーツの標準契約書にはトレード時に選手との協議を経なければならない、選手が求める時には3日の準備期間を与える必要があるという内容が盛り込まれた。

しかし選手協側は「標準契約書確定発表に先立ち文体部と毒素条項について議論するなど、いくつかの努力をしたにもかかわらず、最も重要な“移籍時の選手同意”条項は反映されなかった」と主張している。

選手協関係者は「移籍に先立って選手同意ではなく協議を経るという内容が追加された状況」とし「協議をしろと言うが、事実上球団が望めば選手は防ぐ方法がない」と述べた。

これに対して韓国プロサッカー連盟の関係者は、「連盟次元で標準契約書をどのようにKリーグ契約に反映するかについての議論がなされていない状況」とし「反映されても来年の選手登録期間から適用されるので、それまで球団と選手たちと議論を経て、具体的な方案を用意する」と説明した。

選手協関係者は「移籍時の選手の同意が必要であるという条項が挿入されるように努力する計画」としながら「FIFAと国際プロサッカー選手連盟（FIFPro）と一緒に継続的に話して対応する」と明らかにした。文体部のある関係者は「満足できない部分もあるだろうが既存の契約に比べて選手の権益面で進展したと考えている」とし「今後修正される余地はいくらでもあり国際的な流れも考慮要素になる」と説明した。先月5日（現地時間）FIFProはKリーグの標準契約書の中で「選手の同意なしに球団合意だけで可能な移籍」を人権を侵害する最大の毒素条項だという立場文を発表している。

出典：<http://www.upinews.kr/newsView/upi202106100079>

07 日刊スポーツ 2021.06.08

ウォーカー、「ひざまずき、あきらめてはならない行為」



サッカーイングランド代表のDFカイル・ウォーカー（マンチェスター・シティ）が「ひざまずき」に関する所信を明らかにした。

8日（韓国時間）ウォーカーは単独で行われた英国「デイリーメール」とのインタビューで、人種差別反対パフォーマンスは続けなければならない、スポーツの明と暗のために必要な行為だと明らかにした。特に試合前に施行される人種差別反対パフォーマンスにブーイングを

浴びせる行為について「反対の声は仕方ないが、変化をあきらめてはいけない」と述べた。

彼は「最近のソーシャルメディアを介して人種差別、暴力を人々に認識させながらサッカー界が人種差別根絶に声を出し始めた。前に述べたよう、暴力を日常行う人々はずっといるだろう。しかし、誰が何と言おうと私たちはあきらめずに進む。私が変化を試みることで世界も変化するからだ」と語った。

また、「前回私の息子が、なぜひざまずいかと尋ねた。私はその問いが嬉しかった。今、私は子供に人種差別問題を教育することができるからである」と述べた。

また「私たちはメッセージを伝えようとしており、若い世代を可能な限り多くの教育しようとしている。どんな人種なのか、肌の色がどうか、宗教が何なのかは、重要なものではない」と付け加えた。

昨年から新型コロナウイルス感染症（コロナ19）によりスタンドの出入りは制限された。しかし最近、イングランド内の防疫緩和で観客席の出入りが可能になり、「ひざまずき」に向けた観衆のブーイングが問題になった。

これに、ガレスサウスゲートイングランドサッカー国家代表チーム監督はブーイングを浴びせた観衆を強く批判した。

監督は「一部の人々は、このようなパフォーマンスがまるで政治的立場のように同意するかしないかの立場として考えているようだ。これは、メッセージを全く理解できていないもの」とし、人権問題は同意を要する問題ではなく、存在の問題だと明示した。

それとともにサッカーイングランド代表は、ひざまずきパフォーマンスを続けていくことを宣言した。

一方、「ひざまずき」パフォーマンスは、人種差別に反対するジェスチャーとして通じる。今季アントニオルウィディゴ（チェルシー）、コラム・ロビンソン（ウェスト・ブロム）、ソン・フンミン（トッテナム）など、イングランド・プレミアリーグ（EPL）のサッカー選手が人種差別に苦しみ人種差別反対運動の必要性が大きくなった。ウォーカーも人種差別、暴力に苦しめられたことがある。

先日の欧州サッカー連盟（UEFA）チャンピオンズリーグ（UCL）決勝でチェルシーにシティが敗れると、ファンたちはこの日の試合で不振だったラヒーム・スターリング（メンシティー）とウォーカーのSNSに集まり「大きな事故で死ぬ」、「消えろ黒んぼ」などの暴言を浴びせた。

出典：http://isplus.live.joins.com/news/article/article.asp?total_id=24077252

08 週間スポーツ関連ニュース

水原市、スポーツ人権保護など「体育振興協議会」発足

<http://www.sportsseoul.com/news/read/1047281?ref=naver>

首都圏のスポーツ観客 30%まで入場可能

<https://www.newsl.kr/photos/view/?4819479>

クパン、夏迎え「2021 スポーツレジャーフェア」進行

https://newsis.com/view/?id=NISX20210611_0001473142&cID=13001&pID=13000

スポーツコンテンツの有料化... どのように見るか

http://sports.khan.co.kr/sports/sk_index.html?art_id=202106131045003&sec_id=530101&pt=nv

トルコのスポーツエージェンシー「李ダヨン、ギリシャ1部リーグのチームと契約」

<https://www.edaily.co.kr/news/read?newsId=02755206629080736&mediaCodeNo=258>

「スポーツマーケティング」にも説明ないKTバスケットボールチーム移転

<http://www.busan.com/view/busan/view.php?code=2021061015022967700>

衝撃に包まれた瞬間にもフィンランドが見せてくれたスポーツ精神、サッカーで一つになった

<https://www.goal.com/kr/%EB%89%B4%EC%8A%A4/a/9n802614z011ts8koc6gqe8x>

「スポーツ・武道特性を維持した南北テコンドー融合発展の夢を見る」

<http://www.tongilnews.com/news/articleView.html?idxno=202306>

大韓民国スポーツの英雄、故趙五連国立顕忠院に安葬

<http://mksports.co.kr/view/2021/563005/>

体育市民連帯オンライン 定期後援案内

万人が楽しむスポーツ世界、体育市民連帯が共に作ります。
私達連帯の活動に積極的に賛同していただくことを願います。

私たち体育市民連帯は体育人の権益保護と
福祉実現のために努力しています。
皆さんの小さな心づかいがより良い世界のための
体育市民連帯活動に強固な土台となります。
体育市民連帯会員として力になろうと
される方は下の口座に後援お願いします。

国民銀行 086601-04-095940

口座名義：体育市民連帯

オンライン定期後援は下のリンクを通じてホームページからできます。

多くの関心をお願いします。

http://www.sportscm.org/index.php?module=Inquiry&action=SiteInquiry&sMode=INSERT_FORM&inquiryNo=2

INFOMATION

体育市民連帯 ソウル市 瑞草区 瑞草洞 孝寧路 230 スンジョンビル 407 号

Tel : 02-2279-8999、E-mail : sports-cm@hanmail.net ホームページ : <http://www.sportscm.org/>

日本語訳：佐藤好行 新日本スポーツ連盟 国際活動局 韓国担当 jr1fep@gmail.com